令和５年度 福井県立三国高等学校スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】
「紺碧の日本海と北前船の聖地三国。豊かな自然と歴史文化が息づく町。」古くから地域とともにある学校として、坂井市の協力を得ながら、豊かな文化・環境資源を活用したプロジェクト学習の実践を通して、生徒や保護者が希望する進路を実現し、地域社会に幸せや希望をもたらすことのできる人材を育成する。

校訓
「心高かれ」

教育目標
「高い志を持って自律的に行動し、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する。」

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】
「心高かれ」という校訓のもと、高い志を持って自律的に行動し、次の4つの力を身につけ、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する。
【究める力】自ら問いを立て、課題に対する答えを見つけ出す
【挑む力】様々な出来事や困難に勇気と信念を持って立ち向かう
【結ぶ力】多様な人たちと協力しながら、自分の役割を果たす
【愛する力】ふるさとへの愛着や周囲の人々への敬愛の念を持って行動できる
4つの力を身に付けるため、教科横断的学習を通して、幅広い分野の知識・視点を身に付けるとともに、地域と連携・協働しながら三国の文化やまちづくりについて学ぶ地域探究学習を深め、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育くむ。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】
○ 学校教育目標に掲げる人材を育成するために、必修教科科目、選択科目はもとより、専門教科・科目および学校設定教科・科目をコースの特徴に応じて編成する。
○ 生徒の多様な能力・適性・進路等に対応し、資質・能力を総合的にバランスよく育んでいくと共に、多様な進路に応じたキャリア形成支援のための講義、演習、実習等を適切に組み合せた授業を開講する。
○ Ⅰ系列は文理混合の発展クラスとし、大学入学共通テストに対応した文系理系それぞれの幅広い教養を身に付ける教育課程を編成する。Ⅱ系列では、2年次以降、選択科目の幅を広げ、芸術科目の継続履修および「家庭」「体育」の専門科目である「フードデザイン」や「スポーツⅡ」などの履修を可能とし、多様な進路希望に対応できる教育課程を編成する。
○ 2・3年次に学校設定教科（「地域探究」）・科目（「文化資源探究」「環境資源探究」）を含む各教科・科目、さらには特別活動や課外活動の各場面で「探究」の視点を導入する。地域を題材にした総合的な探究を広く学習の機会と捉え、福井大学やアーバンデザインセンター坂井など、地域の研究機関等の支援を受け、実践する。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】
(1) 教科や地域探究活動、部活動等に主体的に取り組もうとする生徒
(2) 他者と協力して、様々な出来事に取り組もうとする生徒
(3) 地域社会に興味を持ち、地域社会をよくしようと考えている生徒

令和５年度 福井県立三国高等学校スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進
・時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロにするとともに、職員の平均年休取得日数を年間15日以上を目指す。 ・毎週水曜日のノー残業デー、放課後活動定休日および長期休業中の学校休業日を積極的に活用し多忙化解消に努める。 ・ICTの活用などを通して、業務の見直し・精選・削減の取り組みを前年より進めた職員80％以上を目指す。	・自尊感情、共感能力、想像力、人間関係調整力等を備え、自分の良さとともに他者の良さを認めることのできる生徒を、すべての教育活動を通して育む。

重点目標

（共通項目） １ 教育課程・学習支援	（共通項目） ２ 進路支援	（共通項目） ３ 生徒支援	（独自項目） ４ 地域との協働	（独自項目） ５ 安心安全な学校	（独自項目） ６ 積極的な広報活動の実施
生徒の興味・関心を引き出す授業を展開し、自ら学ぶ姿勢を育むことを支援するとともに、基礎学力の定着を支援する。	生徒が、将来に対する目的意識を持ち，自らの進路を適切に選択する能力・態度を身に付けることができるように支援する。	生徒がやりがいや目的意識を持って充実した学校生活を送ることができるように支援する。	地域とともにある学校として、校外の人材や関係機関と連携して各種活動を推進する。	生徒が心身ともに健康で、安心・安全に学校生活を送ることができるような環境づくりを進める。	オープンスクール・学校説明会・HP・SNS等の情報発信等を積極的に実施する。
具体的取組 授業改善やICT教材の活用をとおして、生徒の興味・関心を引き出す授業づくりを行う。 目標： ・授業改善に向けて取り組む教員の割合80%以上 ・ICT機器の活用を通して生徒の興味・関心を引き出す授業力向上に取り組む教員の割合80%以上	具体的取組 a　生徒が、自己の志望する進路について関心を高めることができるように支援する。 目標：進路意識の高まった生徒の割合90%以上 b　生徒が、自己の進路実現に必要な実力を高めることができるように支援する。 目標： 進路志望の実現に向けて意欲的に取り組む生徒の割合80%以上	具体的取組 生徒が学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組むことによって、学校生活への充実感や自己肯定感を育成する。 目標： 学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組む生徒の割合90%以上	具体的取組 地域人材と協働して行う探究学習を推進する。 目標： ・総合的な探究の時間や地域探究での（探究的な）活動への支援に取り組む教員の割合　90%以上 ・総合的な探究の時間や地域探究に意欲的、積極的に取り組む生徒の割合　90%以上	具体的取組 a. 保健情報の発信や「こころのアンケート」の実施等を通して、生徒の心身の健康を保つことに努め、問題の把握と早期対応を進める。 目標： 生徒の心身の健康維持に適切に対応する教員の割合　90%以上 b. 清掃等の美化活動を通して、環境整備に主体的に取り組もうとする生徒の意識と態度を育てる。 目標： 環境美化に主体的に取り組む生徒の割合　80%以上	具体的取組 オープンスクール・学校説明会・HP・SNS等をとおして、小中学生・保護者・地域へ積極的に情報発信を行う。 目標： ・オープンスクールや学校説明会の参加満足度80%以上 ・教職員の積極的な情報発信や広報活動の取り組み状況90%以上